

～油井小中学校 児童生徒の受入に係るアドミッションポリシー～

1 基本方針

児童生徒ファーストの学校づくりを推進し、本校と校区のよさが損なわれないように学校教育の充実、活発化を図る。

学校の教育活動や集落活動の安定化を第一とし、学校存続の課題に取り組む。

2 本校と校区のよさについて

- (1) 子どもたちは、落ち着いた雰囲気、お互いを大切に考え合う関係性で生活を続けている。
- (2) 全ての子どもがおとなしめであるがゆえに、安心して伸び伸びと学校生活を楽しめ、関わり合うことができている。
- (3) 少人数での人間関係がうまく機能していると考えられる。
- (4) 学校は、地域から理解や協力をふんだんに寄せられていて、安心して様々なことに挑戦できている。
- (5) 各集落で保護者と集落の方々との間に不協和音が流れることもなく、関係性をもって生活ができている。

3 受入に当たって（転入後も含む）

- (1) 学校の教育方針と集落の活動を尊重し、「本校と校区のよさが損なわれない」ことを大切にして進めていくこと
- (2) 不登校や登校しぶりなど大集団への忌避意識が強く、気持ちが萎縮している児童生徒にとって、本校の環境はいい影響を与えられると考えられること
- (3) 特認通学希望も含め、本校の教育方針や本校が守りたい雰囲気を理解しているか否かが重要であること
- (4) 受入については、学校だけでなく集落の皆様の御意向や御意見を踏まえながら、慎重に進めていくこと
- (5) 統廃合や閉校問題に対しても早めの対応を行い、地域の学校を続けることをみんな考えていくこと

※ 上記の(1)について

学校の教育方針を受け入れないなど、学校や集落との関係性に課題が生じ、学校や集落の要望を聞き入れない状況になった際は、制度上、町教委が制度の継続を許可しない場合がある。